

アンケート調査にみる豚肉と鶏肉の消費傾向

菊池 仁・佐藤 直人・山舘 忠徳・吉田 力・古川 力*・村田 亀松**・下 弘明

(岩手県畜産試験場・*畜産試験場・**岩手県立農業短期大学校)

Tendency of Consumption on Pork and Chicken by Opinionnaire

Hitoshi KIKUCHI, Naoto SATŌ, Tadanori YAMADATE, Chikara YOSHIDA,

Tsutomu FURUKAWA*, Kamematsu MURATA** and Hiroaki SHIMO

(Iwate Prefectural Animal Husbandry Experiment Station・*National Institute of
Animal Industry・**Iwate Agricultural Junior College)

1 はじめに

「飽食の時代」を迎え、豚肉、鶏肉にも肉質・安全性などの品質の高さが求められ、差別化商品の開発が盛んとなっている。このような背景下で、今後は、育種改良、技術開発にも、消費者志向の反映が必要となろう。

ここでは、盛岡市近郊で行った「消費者アンケート」の結果について報告する。

2 アンケート実施要領

アンケートは、昭和63年3～4月、盛岡市近郊のスーパー6店舗において、来店者(女性)に対して実施した。調査方法は、アンケート用紙を配布し、その場で記入、回収する方法とした。最終的な調査件数は、288件であった。

3 結果

(1) 豚肉、鶏肉の消費量の増減について

豚肉の消費量は、全体では、「増加している」(19.1%)、「変わっていない」(50.0%)、「減少している」(14.9%)という結果であった。年齢別では、30代で「増加」が25.2%と多かった。一方、40～50代で「減少」が19%近くあり、「増加」より「減少」が多いという結果であった。

鶏肉の消費量は、全体では、「増加している」(25.7%)、「変わっていない」(43.8%)、「減少している」(13.2%)であった。年齢別では、年代が進むほど増加傾向があった。

総合的にみれば、年代が進むにつれて鶏肉の消費量が増加し、豚肉の消費量が減少しているといえる。

表1 年齢別豚肉、鶏肉の消費傾向(%)

		増 加	変化無	減 少	無回答	計
豚	全 体	19.1	50.0	14.9	16.0	100
	～29	16.3	59.2	10.2	14.3	100
	30～39	25.2	46.6	14.6	13.6	100
	40～49	16.0	56.8	18.5	8.6	100
	50～59	15.6	46.9	18.8	18.8	100
	60～	13.0	26.1	8.7	52.2	100
鶏	全 体	25.7	43.8	13.2	17.4	100
	～29	20.4	42.9	16.3	20.4	100
	30～39	30.1	45.6	11.7	12.6	100
	40～49	27.2	45.7	14.8	12.3	100
	50～59	31.3	34.4	12.5	21.9	100
	60～	4.3	43.5	8.7	43.6	100

(2) 豚肉について

「豚肉を購入する理由」としては、「料理に必要なから」(35.4%)が多く、次いで「食べ慣れた肉だから」(22.3%)、「価格が安いから」(14.9%)の順であった。一方、一番少なかったのは、「おいしいから」(7.6%)であった。

「スライス肉(購買量の多い形態)」の購買時の注意項目として多いのは、「鮮度(日付)」(35.8%)、「赤肉と脂肪の割合」(24.9%)、「肉色・つや」(21.7%)であり、年齢別では、若い年代ほど「鮮度」に、年代が進むにつれ「肉色・つや」に注意するという回答が多かった。「赤肉と脂肪の割合」という回答は、30～50代で多かった。

好んで買う肉色は、若い年代は「赤っぽい色」であり、年代が進むと「淡いピンク色」という結果であった。赤肉と脂肪の割合は、「8:2」、「9:1」という回答が多く、この二つで62.2%を占めた。また、「10:0」という

表2 豚肉を購入するときの理由(%)

		価 格 が 安 い から	お い し い か ら	食 べ な れ た 肉 だ から	特 売 が あ っ た から	料 理 に 必 要 だ から	栄 養 ・ 健 康 を 考 え て	計
年 齢 別	全 体	14.9	7.6	22.3	8.8	35.4	11.0	100
	～29	17.0	8.0	22.7	6.8	35.2	10.2	100
	30～39	18.5	8.2	20.7	12.0	29.9	10.9	100
	40～49	10.1	5.0	23.7	5.0	43.9	12.2	100
	50～59	10.0	12.0	24.0	12.0	32.0	10.0	100
	60～	17.9	7.1	21.4	7.1	35.7	10.7	100

表3 消費者が好む豚肉(肉色、脂肪割合はスライス肉について)

	肉 色			赤肉と脂肪の割合			お い し さ	
	赤味強い	濃ピンク	淡ピンク	9:1	8:2	7:3	柔らかさ	う ま み
20代以下	◎	○		△	◎			◎
30代	◎	○		○	◎			◎
40代	○	○		○	◎			◎
50代		○	◎	△	○	△	△	◎
60代以上		○	◎		△	△	○	○

注. ◎:非常に多い ○:多い △:やや多い

回答もみられ、全体的に赤肉志向がみられた。

「豚肉のおいしさ」は、「肉のうまみ」にあるという回答が最も多く(61.2%),次いで「柔らかさ」(21.2%)であった。若い年代ほど「肉のうまみ」の割合が多く、年代が進むほど「柔らかさ」の割合が多いという結果であった。

(3) 鶏肉について

「鶏肉を購入する理由」は、「栄養・健康を考えて」

(19.0%),「脂肪が少ないから」(18.9%),「料理に必要なだから」(18.8%),「価格が安いから」(17.4%)が、ほぼ同じ割合で多かった。「栄養・健康を考えて」及び「脂肪が少ないから」という回答は年代が進むほど増加する傾向があり、「おいしいから」という理由は各年代とも少なかった。

表4 鶏肉を購入するときの理由(%)

	価格が安いから	おいしいから	食べなれた肉だから	特売があったから	料理に必要なから	脂肪が少ないから	高たんぱくから	栄養・健康を考えて	計
全 体	17.4	6.3	7.5	4.7	18.8	18.9	7.5	19.0	100
年 齢 別									
~29	17.9	10.7	7.1	5.0	22.9	17.1	6.4	12.9	100
30~39	22.9	5.6	7.3	6.6	16.3	16.0	8.0	17.4	100
40~49	13.3	4.9	7.1	3.1	20.0	21.3	8.4	21.8	100
50~59	13.6	6.2	8.6	3.7	17.3	19.8	4.9	25.9	100
60~	7.8	4.7	7.8	1.6	15.6	23.4	6.3	32.8	100

表5 鶏肉についての志向等

	味について		お い し さ			高級鶏肉の価格		
	おいしい	料理次第	柔らかさ	う ま み	淡泊さ	150	200	250~
20代以下	○	◎	○		◎	◎	△	△
30代		◎	△	△	◎	◎	△	△
40代		◎	○		○	◎	○	△
50代	○	◎	○		○		◎	△
60代以上		◎	○		○		△	△

注. ◎:非常に多い ○:多い △:やや多い

鶏肉を「おいしい」と思うか否か、という質問に対しては、「料理次第」という回答が圧倒的に多く(73.6%),「おいしい」とする者は、22.2%であった。年齢別では、29才以下及び50代で、「おいしい」という回答が多く得られた。

また、鶏肉の「おいしさ」は、「淡泊なあじ」、「柔らかさ」であるという回答が多く、「肉のうまみ」は3位であった。

いわゆる「高級鶏肉」については、「食べてみたい」という回答が各年代とも70%前後あり、興味をいだいていることが解った。一方「食べてみたいと思わない」という者は、若い年代になるほど多かった。「高級鶏肉」の100g当たり価格については、150円前後なら購入するという者が最も多く(36.8%),次いで200円前後という者が多かつ

た(19.1%)。一方、250円以上という者も17%近くみられた。

4 ま と め

牛肉の輸入自由化により、豚肉、鶏肉の消費量は減少するのではないかとわれている。今回のアンケート結果では、豚肉、鶏肉とも「おいしさ」に関する直接的志向は多くはなかったものの、「料理に必要」、「食べなれている」という理由にも「おいしさ」に関する間接的志向が潜在していると考えられ、今後は「うま味」や「料理素材に適している」など消費者志向に沿った商品、技術開発が必要になるとと思われる。今報告は消費者志向の一例であり、更に詳細な調査が必要である。